

# バリアフリームーブメント

“いざ”じゃないとき知る知識！  
“いざ”というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、  
必要なことを先取りしよう！

## 「今回のテーマ」 カードを丸く、利用する人にやさしい工夫

既存の製品をより多くの人が使いたいようにしてくれるモノ、今まで使いにくかったものを使いやすくするためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。  
今回は、カードを丸く、利用する人にやさしい工夫について紹介する。

(森川 美和)

テレビゲームやインターネットの普及にともなって、電子機器類のゲームが多くなってきました。一人で黙々と行うゲームのイメージが強いが、この頃は対戦モードや何人かで楽しめるような設定ができるようになってきている。  
そんな中、昔から変わらずに多くの人が楽しめる「トランプ」の人気は衰えることがない。

## 「アナログのよさをこれからも」 「使いやすい見やすい」 「バイスクルロービジョントランプ」

トランプは一つあれば、一人で遊んだりすることもできるし、複数の人と遊んだりすることもできる。  
ゲームをしたり手品をしたり、占いをしたりとその遊びの種類は様々。  
自分たちでルールを考えて新しい遊びを生み出すこともできるので、工夫すれば遊び方は無限に広がるし、友達や仲間とのコミュニケーションを図るのにもとても手軽で優れたアイテムだ。

さて子どもからお年寄りまで楽しく遊べる「トランプ」昔から人の手にやさしいさりげない工夫がある。  
デザイン的なことやかわりのトランプを除いて、ほとんどのトランプは、角が丸いのだ。

角が尖っていると遊んでいる時に手に角が刺さったり、傷を作ったりしてしまうこともある。



(写真A)  
「バイスクルロービジョントランプ」  
：価格840円（アメリカ製）

【トランプのお問い合わせ先】  
ニチユー（株）  
〒111-0033 東京都台東区花川戸1-3-6 花川戸ビル  
電話：03-3843-6431  
FAX：03-3843-6430  
HP：http://www.nichiyu.net/

## 「スティックタイプの包装に」 「工夫」「Rカット」包装

トランプの角が丸いことは当たり前のごまかしではない。でもこの世の中、大事なことが分かっていてもそれが「当たり前」という現象になるには意外と困難がある。

トランプはまさにその困難さを乗り越えたものだと言える。  
また、この「バイスクルロービジョントランプ」は、弱視の人や文字が見えづらい人にも分かりやすいように、数字がカラーになっていたり文字が大きくなられている。

トランプをもっと多くの人を楽しめるように、点字付きのものやトランプを差すためのホルダー（手の自由が利かない人にも便利）などがある。これらを使えば、障害の有無や年齢にかかわらず多くの人が楽しめるのだ。

世界の遊戯玩具を紹介し続けて60年の歴史を誇る「ニチユー（株）（東京・台東区）喜多美」は、「トランプ」は数ある遊具の中でも年齢や障害を越えることのできる「ユニバーサル」ツールの一つです。今後も世界各国の変化に富んだ使いやすさやカードやトランプ用具を取り揃え、発信していきたいと思っております。」と話した。

私たちが普段生活する中で、手に取る食べ物、たいして何かのパッケージに包まれている。

紙の箱、ビン、プラスチック製のバックやボトルなど、その包装容器はさまざま。  
近年、これらの包装に関して、環境やバリアフリー省力化や省資源化等に配慮したものが登場している。

## 「多くの人に使いやすい包装を目指して」

商品を含む包装には、品物の数だけ適切な包装がある。その一つ一つに対して、要望と課題を常に整理し見出しながら包装機を作り続けてきた企業がある。

（株）東陽機械製作所（愛知県名古屋市中区）以下、東陽（株）だ。東陽は、1967年に発足した同年キャメル自動包装機等を完成させ、現在に至るまで、薬品、食品、菓子、その他一般自動包装機の製作、設計、販売を行っている。  
そんな東陽が約2年間、研

## 「Rカット包装」でより多くの人に使いやすい

「Rカット包装」は、大衆薬品の箱に入った「二つの薬の小袋、インスタント「ト」やインスタント「ミルク」粉末（用のスティック包装などの四隅の角を、直角で切った形にするのではなく、丸みを帯びた形状に加工する技術のこと）をいっている。

その「Rカット包装」開発のきっかけは、医療現場で働く医師の「患者さんが薬の小袋を開ける時に、角で指を痛めたり、時には傷を作ってしまった」ということだ。尖った角が何とかなればいいのだけれど」と言う一言。

製造過程においても、尖った角はパッケージ同士傷ついたり、穴があいたり傷がついたりしてしまうという指摘があり、使用者側と製造者側の両方が抱いた課題に対して、

加藤栄次社長は現場と共に問題点と解決の糸口を探るべく調査、開発に乗り出した。その結果、誕生したのが「Rカット包装」である。  
「Rカット包装」は、切りの開け口の表示が分かりやすくなっていたり、開けやすいように切り込みが入っていたりするため、子どもから高齢者まで扱いやすい。

\*\*\*\*\*

包装容器は、その中身を出してしまえば「ゴミ」になってしまいがち。その配慮にはなかなか気がつくにくい。  
まして「一時的なものだから」と、不便でも扱いつらくても仕方ないとあきらめてしまっている人も多いのではないだろうか。  
そんな見えない部分であっても、使用者の首をかし、不便さを解消しようとする東陽の取り組みは、今後の企業のあり方の手本となるものだ。



【包装機のお問い合わせ先】  
（株）東陽機械製作所  
電話：052-793-1600  
FAX：052-794-9636  
HP：http://www.toyo-mc-mfg.co.jp/